

# 生徒指導通信

黒沢尻工業高校生徒指導部  
第25号(10月5日発行)

## ○嫌だと思ったときこそ「価値」を見直すチャンス

毎日のランニング。何となく続けている練習ノート。週3回の筋力トレーニング。このように、部活動や勉強等で忙しい毎日を送っている人は多いはずです。「これ、嫌だな。」「何でこんなことしなくちゃいけないの?」と、そうした感情が沸き上がってくることもあるでしょう。

しかし、「嫌だな」と思ったときこそ、価値観を見直すチャンスです。「なぜ、これをしているのだろう?」と、自分に問い掛けてみましょう。

行動は習慣化されると、多くのことを考えずに行動を起こすことができます。意識的にやっていたことを無意識にできるようになったと考えればすごいことですが、ふとしたきっかけで、我々の中に「嫌だ!」「辞めたい!」という感情が沸き起こってくる場合があります。それは、人との関係であったり、自分の内側から生まれるかも知れません。

そうした時こそ、「なぜ、これをやるんだっけ?」と問い掛けましょう。「なぜ?」と問いかけることで、価値を再認識することができます。この行動・活動は、自分のビジョンのどこにつながっているのか、自分の夢や目標にリンクしているのか。もしつながっていなければ、「手放す」ことが必要かも知れませんし、「なぜ?」と問いかけることで、初心を思い返すことができるかも知れません。

理由はどうあれ、なぜそれをやるのか明確な自覚を持つことが大切です。もし、自分の仲間が「嫌だな」「やりたくない」という感情を口にしたら、ちょっと立ち止まって考える時間を作ってあげましょう。「将来はどんな人になりたいと思う?」「そのために今の練習は必要だと思う?どう思う?」と。

「必要ない!」ということであれば、その意見を尊重して「待つ」ということも大切かも知れませんし、「必要だ!」と感じてくれれば、ますますやる気に満ちて行動し始めます。

「なぜ」を考える時間を一緒に作りましょう。

## ○「インターンシップ」の意義

10月5日(月)から2年生がインターンシップに参加します。高校生がインターンシップを行う意義には、以下のようなことが挙げられます。

・職業観の形成 ・積極的な進路選択、学習意欲の向上 ・社会人としてのマナーの会得

本校の場合、夏季・冬季休業中のアルバイトを許可しているので、実際に職場で働くことを経験している人は多いはずです。それでも、インターンシップを実施するのは、社員の方々がどれだけ“やりがい”や“生きがい”を感じて仕事をしているのかに触れるためであり、自分が従事する仕事が適しているかどうかを真剣に考え、進むべき道を確認したり、改めて見直す絶好の機会となるからです。

最近、就職して間もなく辞めたという卒業生の話をよく耳にします。先生や親の薦めで会社を受験して職に就きますが、人間関係が嫌になったり、仕事にやりがいを感じないとすぐに辞めてしまう傾向が高まっています。高校での経験が生かされていないのは、大変残念です。

夢や希望を持って就職しても、環境の変化に悩み、辛くなることは必ずあります。それが人生です。嫌なことから逃げてばかりでは、何をしても務まりません。3年生は、もう一度、自分の進む道を確認しましょう。1年生も、今から心の準備をしておきましょう。

**人生に成功する秘訣は、自分が好む仕事をするのではなく、自分のやっている仕事を好きになることである。**

by ゲーテ(詩人、劇作家)